

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 7 年 12 月 25 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 8 年 1 月 23 日（金）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

ブダイはおいしい！

～海中林復活に向けた藻食性魚類の利用促進の取組～・・・・・・・・・・ 1
(水産・海洋技術研究所伊豆分場)

◎令和8年1月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

静岡大学による公開講座「民俗学への誘い」を開催します！・・・・・・・・ 19
(賀茂地域局)

地震対策オペレーション 2026（大規模図上訓練）
～賀茂方面本部運営訓練の実施について～・・・・・・・・・・・・ 21
(賀茂地域局)

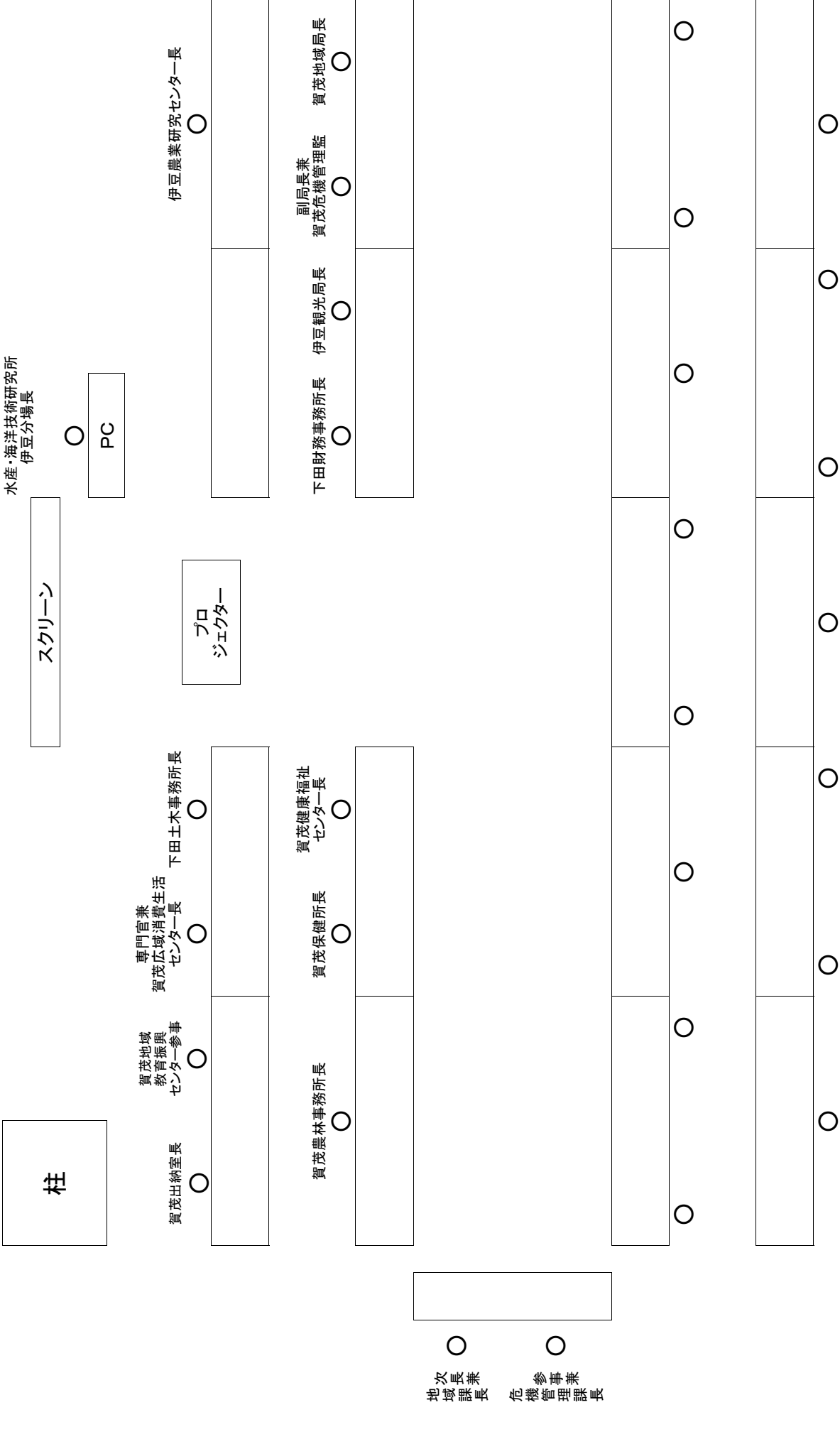
1月の防災講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
(賀茂地域局)

第4回那賀川水系流域委員会を開催します・・・・・・・・・・・・ 23
(下田土木事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	<small>あおき</small> 青木 <small>かつひろ</small> 克裕
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	<small>まつおか</small> 松岡 <small>ひろのり</small> 宏典
3	東部地域局伊豆観光局長	<small>さきの</small> 笹野 <small>つとむ</small> 努
4	下田財務事務所長	<small>たけだ</small> 竹田 <small>としき</small> 敏己
5	賀茂健康福祉センター所長	<small>わたなべ</small> 渡辺 <small>しん</small> 心
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	<small>ほんま</small> 本間 <small>よしゆき</small> 善之
7	賀茂農林事務所長	<small>じょうけ</small> 上家 <small>まこと</small> 信
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	<small>ばば</small> 馬場 <small>ふじお</small> 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	<small>わしやま</small> 鷺山 <small>ひろふみ</small> 裕史
10	下田土木事務所長	<small>すがぬま</small> 菅沼 <small>ただつぐ</small> 忠嗣
11	賀茂広域消費生活センター所長	<small>まつひさ</small> 松久 <small>まゆみ</small> 真弓
12	賀茂出納室長	<small>まつなが</small> 松永 <small>としの</small> 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	<small>みむろ</small> 三室 <small>なおこ</small> 直子
14	賀茂地域局次長兼地域課長	<small>いいだ</small> 飯田 <small>まさゆき</small> 雅之
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	<small>はかまだ</small> 袴田 <small>こうじ</small> 晃司

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



地域次長兼
課長

危機参事兼
管理課長

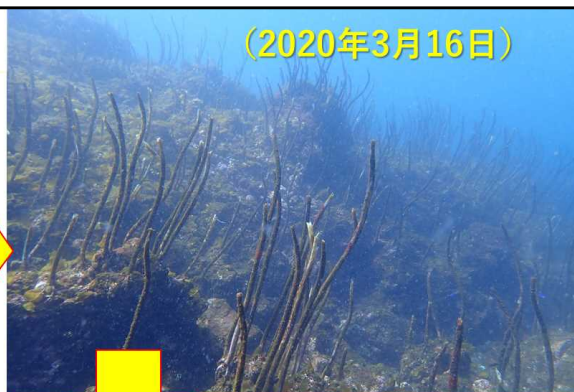
令和7年12月25日
重要施策発表

ブダイはおいしい！
～海中林復活に向けた
藻食性魚類の利用促進の取組～
水産・海洋技術研究所伊豆分場

ブダイはおいしい！～海中林復活に向けた藻食性魚類の利用
促進の取組について～

水産・海洋技術研究所伊豆分場 鷺山裕史が報告します。

伊豆半島各地で磯焼けが深刻化



痩せアワビ

黒潮大蛇行などの高水温化により、海の中の環境が変化し、伊豆半島各地で磯焼けが深刻化しています。

これは、同じ海域で年ごとに撮影した水中写真を並べたものですが、2017年の黒潮大蛇行以降、カジメの海中林が消失しました。

カジメを餌とするアワビは写真のように痩せて商品価値がないアワビが漁獲されるなど漁獲量が大きく減少し、深刻な影響が出ています。

伊豆半島各地で磯焼けが深刻化



海藻(カジメ)を食べるブダイの群れ

磯焼けの主な要因の一つ ➡ ブダイによる食害

海の中を見るとブダイが多く見られます。

ブダイは南方系の魚でカジメなどの大型海藻を食べる魚です。

ブダイと磯焼けの関係



カジメ(海藻)の復活にはブダイを減らすことが重要

ブダイは、のこぎりのようなすどい歯を持ち、カジメなどの大型海藻を引きちぎって食べ、茎まで齧って食べてしまいます。

そうすると、生長点まで食べられてしまいますので、カジメが再生できず、なくなってしまいます。

解剖して胃内容物の消化管を見ると、消化された海藻が見られます。

ブダイと磯焼けの関係



高水温で海藻は生長停滞, ブダイは活発に摂食

カジメは高水温になると生長が停滞します。一方、ブダイは南方系の魚であり、特にカジメは活発に摂餌します。

ブダイがカジメを食べる動画がありますので、その様子をご覧ください。

ブダイと磯焼けの関係

カジメ（海藻）を移植しても食べられてしまう



移植直後



移植 5 日後

カジメ(海藻)の復活にはブダイ(藻食魚)を減らすことが重要

磯焼けになり、漁業者はカジメを回復させようと移植活動をおこなっています。

カジメを左の写真のように海中に移植した結果、5日後に様子を見ると右の写真のように全ての移植した海藻が食べられてなくなっていました。

このように、海藻を増やそうと移植しても、すぐに食べられてしまう状況になっています。

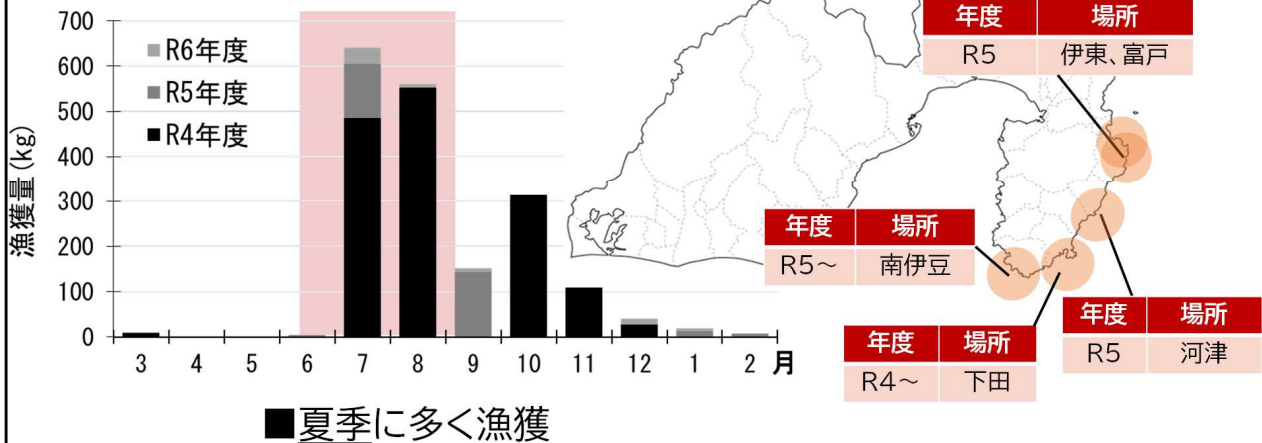
環境変化でカジメが見られなくなり、生態系のバランスが崩れています。

黒潮大蛇行が解消しましたが、海藻の回復にはブダイを減らし、食害を防ぐことが重要です。

海藻復活のためブダイ採捕を開始！

■各地で刺網による採捕を実施

下田市白浜におけるブダイ採捕結果



…しかし、多くの漁業者が活動を断念

ブダイを採ろうとの呼びかけに応じ、伊豆半島の漁業者は令和4年度から計5か所でブダイの採捕を始めました。

夏に多くのブタイを漁獲できましたが、結果的に多くの漁業者が継続できずに活動を断念してしまいました。

海藻復活のためブダイ採捕を開始！でも…

採捕活動が継続しない主要因 ➡ 労力・経費の負担



投網・揚網



網外し・網修理



■必要人員:3名

■経費

燃料代、氷代、人件費
網等の道具

継続には経費に見合う収益の確保が必要

その大きな理由は労力、経費の負担が大きいことです。

経費に見合う収益が見込めなければ、継続できません。ボランティアで漁獲するのは限界があります。

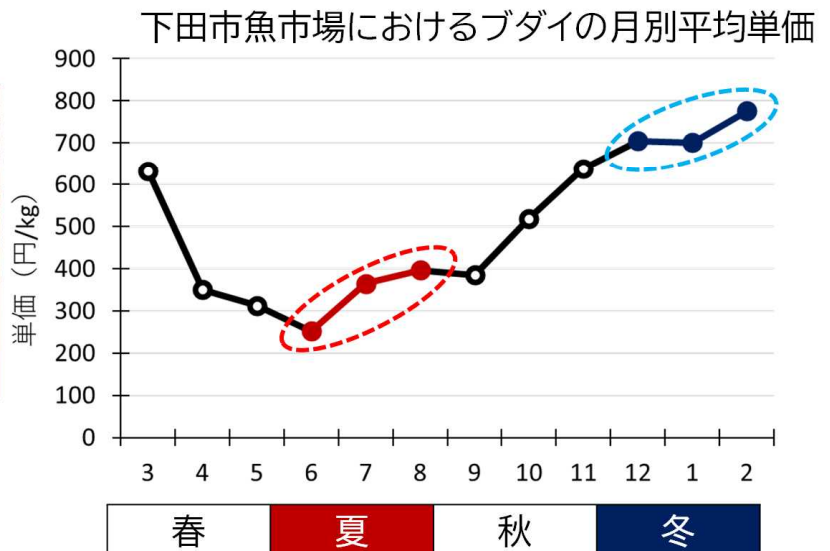
気持ちとしては漁獲する気があっても、他に収益が見込める仕事（漁）があれば、生活もあるので他の仕事をした方良いということになり継続できません。

ブダイで収益が得られるか？

■伊豆地域では
冬季は好まれ、単価は高いが、夏季は単価が低く、収益確保が困難



ブダイの煮つけ



ブダイは伊豆地域では冬季に好まれ、煮つけなどで食べられます。

市場単価は冬季に高く、夏季は低くなります。

夏季に大量に漁獲された場合は需要がなく、値がつかないこともあります。

ブダイで収益が得られるか？

なぜ夏季は単価が低いのか…？

マイナスイメージ

1

冬は脂がのっておいしい
⇔夏は脂が無い！

2

夏は鮮度が悪い！

3

夏は磯臭い！

化学分析により周年おいしいことを証明

利用促進により採捕活動を継続実施できる収益(単価)を目指す

この原因として、冬は脂がのって美味しいが、「夏は脂がない」。「夏は鮮度が悪い。」「夏は魚が磯臭い。」というマイナスイメージが大きいことが分かりました。

しかし、夏季に漁獲したブダイを食べてみましたが、十分美味しく、マイナスイメージを払拭できれば需要が増え、単価が上がるのではないかと考えました。

そこで、夏季と冬季に漁獲したブダイを化学分析して比較し、これらのマイナスイメージを検証することとしました。

分析方法



■分析サンプル

- ・ 夏季(7月)と冬季(12~1月)
の刺網漁獲物:各9尾
- ・ 漁獲後速やかに冷却保管
- ・ 水氷(氷+海水、2~3℃)で保管



水氷保管のイメージ

夏は「脂がない。」というイメージを検証するため、夏季と冬季に漁獲したブダイを3尾ずつ用意しました。

このブダイの魚肉の一般成分分析を行い、「脂質含量」を比較しました。

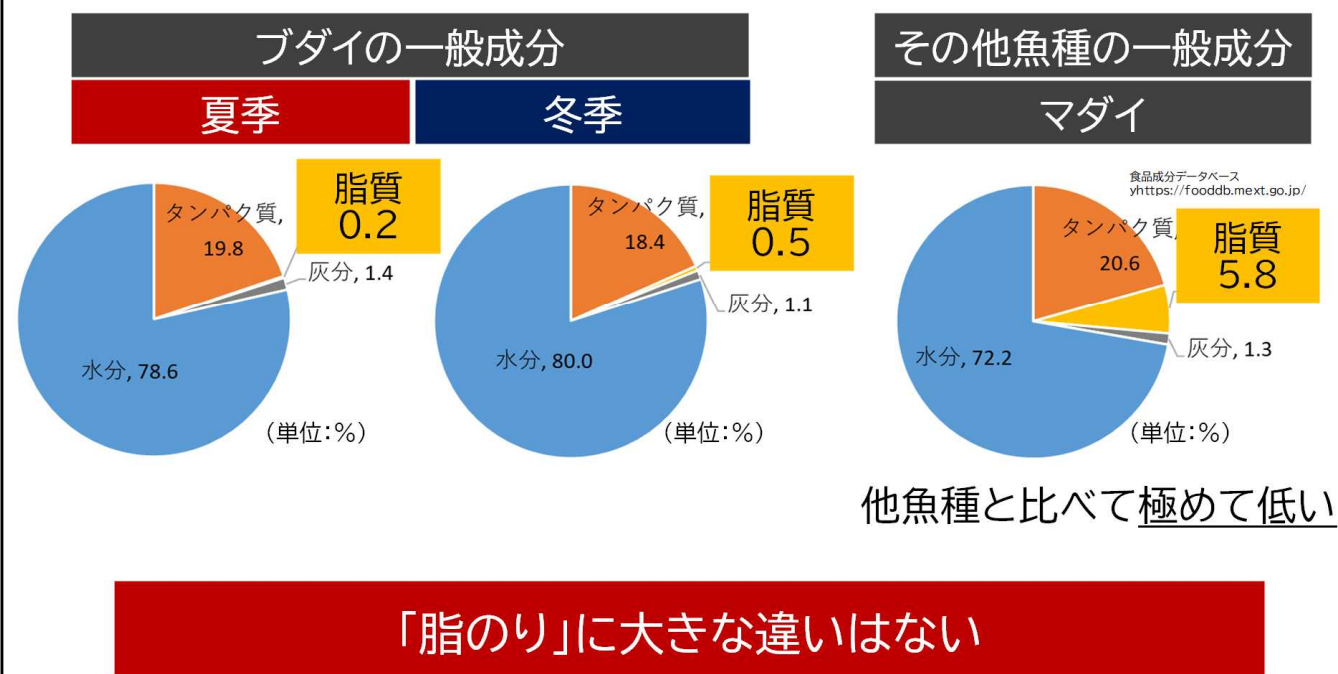
次に、夏は「鮮度が悪い」というイメージに対しては、鮮度指標である「K値」を調べました。

鮮度指標である「K値」は、夏季と冬季の比較に加え、氷水で保管した場合の保管日数の変化についても調べました。

夏は「磯臭い」というイメージに対しては、「香気成分」を調べました。

「香気成分」も夏季と冬季の比較に加え、K値の測定と同様、保管日数の変化についても調べました。

結果:①脂質含量



結果です。

ブダイの「脂のり」は一般成分の「脂質含量」を、夏季と冬季で比較しました。

夏季は0.2%、冬季は0.5%という結果になり、確かに冬季は夏季よりも「脂質含量」は多い結果となりました。

しかし、一般的な魚であるマダイと比較したところ、「脂質含量」はマダイの10分の1以下でした。

つまり、ブダイは「脂質」が少ない魚ですので、他魚種と比べて「脂のり」は非常に低く、「大きな違いはない」と言えます。

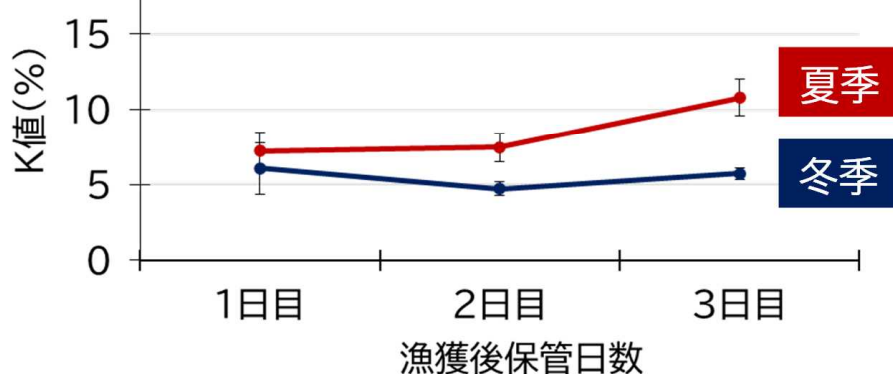
結果:②K値

K値

一般的に、20%未満であれば高鮮度と評価される

評価の目安

20%



適切に冷却保管すれば、3日保管しても高い鮮度を維持

次に、鮮度を夏季と冬季で比較するため、K値を測定しました。

これは魚の鮮度を図る指標で、鮮度が高ければ、値は低く、鮮度が低ければ、値は高くなります。

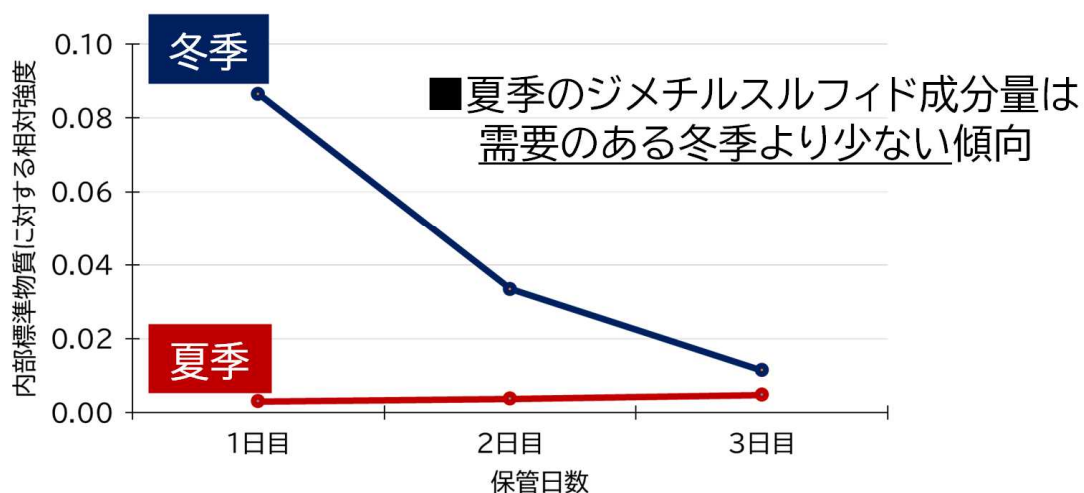
一般にK値が20%未満であれば、高鮮度と評価されます。

分析した結果、夏季よりは冬季の方が鮮度は高かったものの、夏でも高鮮度と評価される20%未満でした。

また、適切に冷却保管すれば、3日間保管しても高い鮮度を維持することがわかりました。

結果:③香気成分

藻食性魚類に特有の「磯臭さ」を呈する「ジメチルスルフィド」成分量



「夏は磯臭い」とはいえない、3日保管しても磯臭さは強くない

最後に、「夏のブダイの磯臭さ」について、「ジメチルスルフィド」という香気成分があり、これを夏季と冬季とで比較しました。

値が高ければ臭いが強く、低ければ臭いが弱いという評価になります。

その結果、予想に反して夏季は冬季よりも少ない傾向が見られました。

また、3日間保管しても、磯臭さは強くないことがわかりました。

少なくとも、夏季のブダイは磯臭いとは言えず、3日間保管しても磯臭さはほとんど強くないということが分かりました。

「夏のブダイはおいしい！」ことを周知

ブダイの刺身を試食しながら分析結果を周知



漁業者 & 加工業者



飲食店関係者

夏でもしっかり処理すればおいしい！

この品質なら飲食店で十分使える！

ブダイの利用促進に向けた取組がスタート

そこで、この結果を元に、夏のブダイはおいしいことを周知することにしました。

まずは、漁業者や魚を取り扱っている加工業者と、魚を扱う飲食店関係者に分析結果を周知するとともに試食してもらいました。

その結果、評価が良く、利用促進に向けた取組をすることにしました。

新たなブダイ流通モデル確立を目指して

工程	採捕・鮮度管理	一次加工	コーディネート	飲食店利用
対応	漁業者	地域の加工業者	仲介業者	都内の有名飲食店
内容	 漁獲後 迅速な冷却保管	 3日以内の加工	 産地×飲食店 マッチング	 ブダイのロースト  揚げブダイの中華風炒め

夏季のブダイを商業ベースで試験流通(約400食分)

ブダイの新たな需要を創出、活動経費を継続できる単価を目指す

漁業者には漁獲後、すぐに冷却保存してもらい、加工業者には漁獲してから3日以内の加工をお願いしました。

都内の飲食店とマッチングを行い、夏季のブダイを商業ベースで試験流通することが出来ました。

今後、新たな需要を創出し、漁業者の漁獲が継続することでブダイの尾数を抑制し、藻場の回復につなげていきたいと考えています。

行事予定表（令和8年1月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	木					
2	金					
3	土					
4	日					
5	月					
6	火					
7	水					
8	木					
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木					
16	金	地震対策オペレーション2026 8:30-12:00 賀茂危機管理庁舎				
17	土					
18	日					
19	月	防災講座（大賀茂小学校） 10:25-12:05 大賀茂小学校				
20	火					
21	水	防災講座（わかば保育園） 10:00-10:50 わかば保育園				
22	木					
23	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
24	土					
25	日					
26	月	静岡大学公開講座「民俗学への誘い」 18:00～19:30 賀茂キャンパス				
27	火					
28	水	防災講座（松崎幼稚園） 10:00-10:40 松崎幼稚園				
29	木					
30	金					第4回賀川水系流域委員会 10:00～ 松崎町役場 環境改善センター
31	土					

行事予定表（令和8年1月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	木					
2	金					
3	土					
4	日					
5	月					
6	火					
7	水					
8	木					
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木					
16	金					
17	土					
18	日					
19	月					
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					
31	土					

令和7年12月25日

定例記者懇談会資料

＜賀茂キャンパス活用プログラム＞

静岡大学による公開講座「民俗学への誘い」を開催します！

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡大学による公開講座を令和8年1月26日（月）に開催します。

※参加費は無料

(概要)

日 時	令和8年1月26日（月） 18:00～19:30
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内 容	講師：静岡大学地域創造教育センター 辻本 侑生 氏 演題：「民俗学への誘い～賀茂地域の日常と文化から考える～」 最近、テレビや新聞などで「民俗学」への注目が集まっています。民俗学は、伝統的な地域文化の調査研究に加え、災害、福祉、まちづくりなど、地域課題解決にもつながる現代的な学問です。本講座では、賀茂地域の事例を取り上げながら、民俗学の世界にみなさまをご招待します。
参加費	無料
申込方法	右記QR：  電話：0558-24-2202 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
問合せ先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2202 共催：静岡大学東部サテライト 賀茂キャンパス活用推進委員会（静岡県賀茂地域局ほか）

担 当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

静岡大学公開講座

民俗学への誘い

～賀茂地域の日常と文化から考える～

参加
無料

講師：静岡大学地域創造教育センター 辻本 侑生 氏

最近、テレビや新聞などで「民俗学」への注目が集まっています。

民俗学は、伝統的な地域文化の調査研究に加え、災害、福祉、まちづくりなど、地域課題解決にもつながる現代的な学問です。賀茂地域の身近な生活や風習を手がかりに、文化や歴史への理解を深める内容となっています。

本講座では、賀茂地域の事例を取り上げながら、民俗学の世界にみなさまをご招待します。

2026年 **1月26日** [月]
18時00分～19時30分

会場 **賀茂キャンパス**
(下田総合庁舎別館2階)
下田市中531-1

申込方法

①②③いずれかの方法で申込みください。

①QRコード



②電話番号

☎ 0558-24-2202

③メールアドレス

✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

定例記者懇談会資料

地震対策オペレーション2026（大規模図上訓練）
～賀茂方面本部運営訓練の実施について～

（賀茂地域局）

（目 的）

大規模地震を想定し、情報の迅速かつ的確な収集及び伝達を国、市町及び関係機関と連携して行う賀茂方面本部運営訓練を実施します。

（概 要）

1 日 時

令和8年1月16日（金） 8:30～12:00

2 参加予定者

静岡県、賀茂地域1市5町、陸上自衛隊、下田海上保安部、下田警察署
下田消防本部、沼津河川国道事務所、東京電力パワーグリッド(株)

3 会 場

静岡県賀茂危機管理庁舎3階 方面本部室

4 スケジュール

8:30 訓練開始
10:00 対策会議
10:30 方面本部員会議
11:45 賀茂方面本部長講評
12:00 終了

5 訓練想定

- ・1月15日（木）8:30頃、南海トラフ沿いで巨大地震が発生
- ・地震発生から24時間経過した想定で訓練を実施
- ・大津波襲来により沿岸部で著しい被害

6 そ の 他

- ・気象に関する警報が発表された場合、県内で震度4以上の地震が発生した場合は訓練を中止します。
- ・訓練中の職員に対する取材は御遠慮願います。

担 当：危機管理課 高畑
連絡先：0558-24-2004

1月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	実施日時	実施場所	実施対象	内容等
①	1月19日(月) 10:25～12:05	大賀茂小学校 (下田市)	全校児童 約40人	防災かるた、災害時判断ゲーム
②	1月21日(水) 10:00～10:50	わかば保育園 (河津町)	全園児 約30人	防災ダック
③	1月28日(水) 10:00～10:40	松崎幼稚園 (松崎町)	3～5歳児 約10人	防災かるた

(お願い)

- ・防災講座の取材においては、各学校まで取材を行う旨を御連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木
連絡先：0558-24-2004

定例記者懇談会



第4回那賀川水系流域委員会を開催します



(下田土木事務所)

(要旨)

賀茂郡松崎町の市街地を流れる那賀川水系において、河川法に基づく河川整備計画を策定するため、学識経験者や地域の方々から幅広く意見を伺う場として、第4回流域委員会を開催します。第3回までの検討を踏まえ、河川整備計画の原案について諮ります。

(概要)

- 1 日 時 令和8年1月30日(金) 10:00～11:30
- 2 場 所 静岡県松崎町役場 環境改善センター2F 大会議室
(〒410-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内 301-1)
- 3 内 容 ・河川整備の目標(利水、環境・地域との関わり)について
・河川整備計画(原案)について

4 委員構成

氏名(敬称略)	所属・役職
田中 博通	東海大学 名誉教授
早川 宗志	ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授
高井 則之	日本大学 生物資源科学部 教授
塚本 眞大	賀茂農林事務所 技監兼農村整備課長
山本 一詞	那賀川非出資漁業協同組合 組合長
山本 公	松崎町文化財保護審議会 会長
土屋 宗三郎	松崎消防団 団長
関 唯彦	松崎地区 区長代表
山本 衛	中川地区 区長代表
佐藤 岩夫	岩科・三浦地区 区長代表
本多 正弘	松崎町観光協会 会長
深澤 準弥	松崎町長

5 会議の傍聴

傍聴を希望される方は、令和8年1月28日(水) 12:00までに下田土木事務所企画検査課までお申し込み願います。

担 当：企画検査課 企画班

連絡先：0558-24-2113

※ 河川整備計画とは、河川法第16条の2の規定に基づき、河川管理者が河川整備基本方針に沿って、災害の発生を防止又は軽減するために必要な措置を講じ、総合的な河川管理を行うため、今後概ね20年から30年の間に行う当該河川の整備に関する河川工事・河川維持等を定めるものです。

